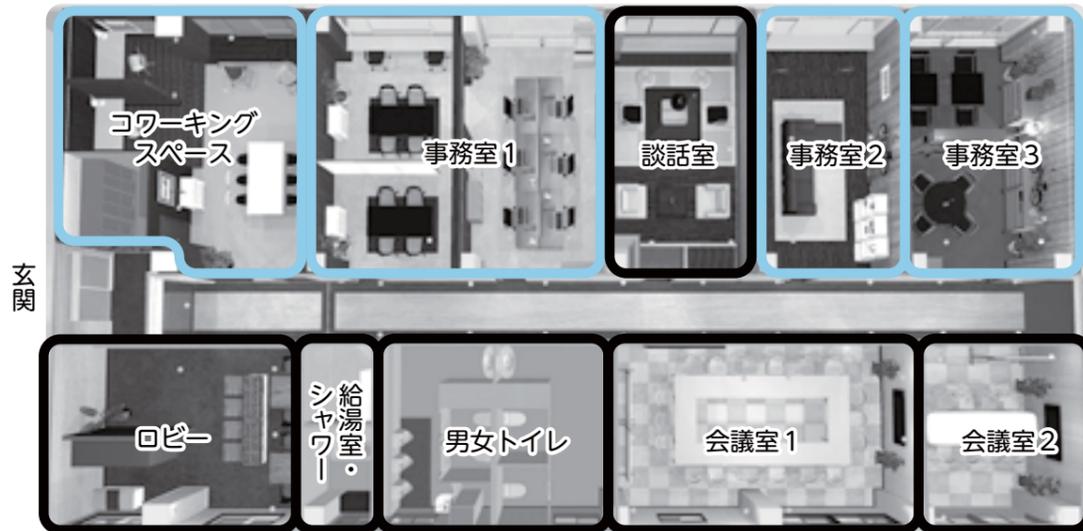


くにさきサテライトオフィス「スポークネット」の概要

◆ 施設概要

- 国東市がオフィスとして提供する部分
- 入居した事業所や個人事業主が無料で利用できる共用スペース



※談話室は、国東七島藩の畳表を使用しています。

◆ 国東市が市外企業へオフィスとして提供すること

	事務室 1	事務室 2	事務室 3	コワーキングスペース
面積	50.60㎡	25.38㎡	28.42㎡	39.55㎡
金額 (月額)	40,500円	21,300円	23,600円	7,500円 (1人につき)



「スポークネット」の名称

くにさきサテライトオフィスの名称は、国東市広報アドバイザーでイラストレーターの中野伸哉さんに考案してもらいました。

名称は、自転車の車輪中心（ハブ）から外周部へ放射線状に伸びるスポークが、都市部のハブ空港から各地の拠点空港へとつながる航空路線を連想させることから、「都市部と国東を結び、人や情報、物流を担う拠点になること」を願って命名されています。



くにさきサテライトオフィス「スポークネット」いよいよ始動

国東市は、市外からIT関連企業等の誘致を図ることで多様な働く場所を創出しようと、平成29年度から国東市サイクリングターミナル2階部分を改修し、「くにさきサテライトオフィス」の整備を進めて来ました。



進出第1号企業が決定！



システム開発事業を行っているディースタANDARD株式会社（東京都）が、九州や西日本からの人材確保や育成を目的に、国東市へ新拠点を設置することを発表しました。

9月7日（金）、ディースタANDARDの小関智宏社長が県庁を訪れ、広瀬勝貞知事と三河明史市長に報告しました。

今後、本社の従業員5人が

10月からの操業に向けて順次異動し、システム開発の業務にあたります。また、国東市内を中心にシステムエンジニアを育成するため、高校新卒者を1年目に5人、2年目に10人、3年目に20人と新規に採用を予定しています。そして、東京などでシステムエンジニアの経験を積ませ、経験豊かになった人材を国東市に戻し、地元で根付いた業務を行うことも計画しています。

